

シンプルな美しさと“住宅との調和”を追求した「カーポートSC」から高強度タイプが新登場 「カーポートSC 1500」新発売

株式会社 LIXIL は、シンプルな美しさと“住宅との調和”を追求したカーポート「カーポート SC」から、耐積雪・耐風圧を強化した「カーポート SC 1500」を2020年3月2日より全国で発売します。



「カーポート SC 1500」施工例

2017年10月に発売した「LIXIL カーポート SC」は、シンプルな美しさで様々な住宅スタイルと調和するデザインが高く評価され、国際的なデザイン賞である「iF DESIGN AWARD 2018」、「German Design Award 2019」をはじめ、「2017年度 グッドデザイン賞（グッドデザイン・ベスト100）」、「第19回 JIDA デザインミュージアムセレクション」と4つのデザイン賞を受賞しました。

今回発売する「カーポート SC 1500」は、「カーポート SC」としてのシンプルなデザインは踏襲しつつ、高強度のニーズに応える新商品です。両支持構造を採用することで、1台用・2台用ともに、耐積雪50cm相当、耐風圧46m/秒相当の強度となり、従来品からワンランク上の強さを実現しました。これにより、ミニマルデザインでノイズレスな空間を演出できると好評の「カーポート SC」シリーズを、より広い地域で採用いただけるようになります。

「カーポート SC」と同じくアルミを採用した屋根部分は、強度を確保しながら40mmの薄さを保ち、すっきりとした外観がモダンからナチュラル、和テイストまで様々な住宅スタイルに調和します。カラーも「カーポート SC」同様のラインアップをご用意しており、光沢を抑えたマットな質感による住宅との調和や、屋根材と柱のカラーを変えた「ツートン・コーディネート」も楽しむことが可能です。

LIXIL では、今後も商品性能の向上と美しいデザインを追求し、豊かで快適な住生活の未来に貢献してまいります。

<参考資料>

■「カーポート SC 1500」商品特長

1. シンプルな造形と安心感の両立

1 台用：4 本柱仕様、2 台用：6 本柱仕様を採用することで、耐積雪 50cm 相当、耐風圧 46m/秒相当の高強度を実現。“カーポート SC としてのデザインコンセプト”を踏襲しつつ、1 台用・2 台用ともに、従来品からワンランク上の強さを実現しました。



「カーポート SC 1500 (1 台用)」



「カーポート SC 1500 (2 台用)」

■「カーポート SC」「カーポート SC 1500」仕様比較

		カーポートSC	カーポートSC1500
デザイン	1台用	片支持構造 2本(3本)柱	両支持構造 4本柱
	2台用	両支持構造 4本柱	両支持構造 6本柱
	ミニ	片支持構造 2本柱	設定ナシ
耐風圧強度		42m/s相当	46m/s相当
耐積雪強度		積雪20cm相当	積雪50cm相当
		(600N/m ²)	(1500N/m²)

2. 「カーポート SC」シリーズとして“住宅調和”を追求したデザイン

シンプルな美しさを追求し、住宅と美しく調和する「カーポート SC」のデザインは、国内外のデザイン賞を受賞するなど高く評価されています。今回発売する「カーポート SC 1500」もそのデザインコンセプトを踏襲し、屋根と柱のみの最小限の構成でどんな住宅にも美しく調和します。雨樋を屋根や柱に内蔵させたり、ネジ・ボルトなどのパーツを表から見えないようにしたりと、細部にわたってノイズレスなフォルムを追求しています。



屋根・柱に内蔵された雨樋。
横樋は屋根に、縦樋は柱に内蔵

ネジやボルトを隠し、
コーナーキャップも極小化

3. 住宅外観になじむ質感とカラー展開

「カーポート SC」同様、光沢を抑えたマットな質感で、住宅・景観になじむ落ち着いたカラー展開をラインアップ。さらに、屋根材と柱のカラーを変えた「ツートン・コーディネート」によって、単色のボリューム感を軽減し“視覚的な軽さ”を作り出すことで、洗練された美しさを演出します。



54-50型
柱・梁:シャイングレーフ
屋根材:シャイングレーフ

54-50型
柱・梁:ブラック
屋根材:ブラック

54-50型
柱・梁:ナチュラルシルバーF
屋根材:ナチュラルシルバーF

54-50型
柱・梁:ブラック
屋根材:シャイングレーフ

■参考価格

「カーポート SC 1500」

1 台用（30-50 型）標準柱（H22）：66 万 8000 円～

2 台用（48-50 型）標準柱（H22）：124 万 5200 円～

※価格には、消費税及び搬入・取付・設置費等は含まれておりません。

■販売地域 全国

■発売日 「カーポート SC 1500」：2020 年 3 月 2 日